

# 弾きつなぐ伝統の緋音頭

## 新市の子ども三味線教室

新市小学校（新市町新市）の空き教室で開講している「キラキラコミュニティー土曜教室」の子ども三味線教室で15日、令和6年度の修了を祝う会が開かれた。

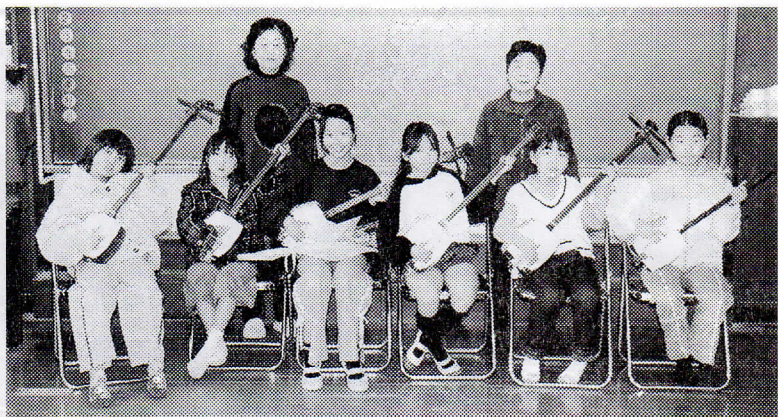
同教室は、備後緋音頭の継承に取り組む「備後緋音頭をつなぐ会」の運営で平成25年から活動を始めた。けいこは毎月第3土曜日に行われ、民謡グループ「原田会」の館上恵子さん（加茂町）と渡辺

敏枝さん（同）による指導の下、地域に伝わる備後緋音頭の習得に励んでいる。

今年は同校の1〜6年生12人が学び、つなぐ会の活動に同行して町内外のイベントで備後緋音頭の演奏を披露してきた。

修了を祝う会では、講師2人が見守る中、生徒らが定番曲の「さくらさくら」を披露。修了記念の集合写真を撮った後、三味線をかたどったチョコレート

んだ。



4月から中学生になる小森琴音さん（6年）は、下級生から受け取った花束を手し、「三味線は難しかった。それだけに、できるようになったと大きき喜びが大きかった。

が添えられたケーキを食べて交流を楽し

た」と笑顔を見せていた。